

## ● 中神小学校で防災訓練



▲訓練開始です。



▲火事だ～！

スタンドパイプでは放水要領の説明を受け、消防給水車から給水を受けての放水訓練。煙体験では煙を発生する溶剤の不足というハプニングがあり一部は訓練できませんでした。

AEDでは、倒れている人の年齢による扱い方を体験し、「一人ではなく声を出して近くの人に呼びかけて協力を求めるように」と指示されていました。

パーティションのコースでは、組み立てを説明する方から、間仕切りの必要性、体育館にあるものを利用する、組み立て式の簡易トイレでは、汚物処理、暗闇での使用、臭の問題等説明担当者に熱心に質問していました。

防災倉庫に格納された防災用具の展示は、初めて見る人もいて好評でした。

最後に昭島消防署大神出張所の鈴木担当官が「災害は必ず来るのでそういう気構えを持って行動してください」と講評されて、訓練を終了しました。

地域の皆さんとの防災意識向上を図るため、あきしま・街づくり市民会議・なかがみは、防犯防災部会と地域活動部会が主催して12回目の防災訓練を11月26日(日)に、中神小学校の校庭及び、体育館にて実施しました。

当日は、晩秋の好天にめぐまれた青空のもと、絶好の訓練日和となり、自治連第5、6ブロック内の各自治会会員を中心に、中神小学校避難所運営委員の方々、中神小学校、玉川小学校の校長・副校長先生の参加をいただき、訓練は昨年の実績をはるかに上回る116名の参加者で行われました。

特に今回の防災訓練では、消防関係に加えて、昭島市防災課の協力で「学校避難所」の一部を体験する行程を設けて、行われました。

自治会の防災旗毎に整列した訓練参加者は4つの班に編成され、班に訓練を誘導するリーダーを配置して、校庭では「初期消火」、「煙体験」、「スタンドパイプ」の体験、体育館では「AED」、「パーティション組み立て」の体験のほか、展示された「組み立て式簡易トイレ」、「発電機」、など防災倉庫に格納されている防災用品の確認・説明を受ける訓練が開始されました。

消火器取り扱いでは大きな声で「火事だ」と元気よく声を出し、子供も大きい声を出し消火器取り扱いを体験しました。



▲AEDの説明を真剣に聞く参加